

# 令和5年度 大館市立第一中学校 学校評価書( 前期・年度 )

## A 学校教育目標

豊かな創造性を磨き 現在及び将来をたくましく生き抜く生徒の育成

## B 目指す生徒像(校訓)

○自ら課題を見つけ、仲間と議論しながら、学び続ける生徒(英知) ○大勢の中で、認め合い競い合い支え合っ  
て、仲間と心を繋ぐ生徒(友愛) ○高い志を抱き、仲間のため自分のために、困難に挑む生徒(忍耐)

## C 目標具現化の構想と具体的な取組

指導の重点	豊かな創造性を磨き「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成 ～豊かな創造性を備え 共に論じ合い深め合う学びの実現を通して～
1 「校歌の具現化」を目指し、思いを一つにする職員集団( Team Hearts )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「校歌」を意識した職員集団の取組</li> <li>・「指導のすき間」を埋める、「学年部内指導組織」の明確化</li> <li>・創造的運営意欲を掻き立てるミーティングの工夫</li> <li>・五大祭、IB集会、鳳雛講座、学校評価の改善</li> </ul>
2 集団を鍛えて個を引き上げる創造的な企画と組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標実現のための4指導のアジャスト(調整)</li> <li>・教育目標実現に向けた解決課題のクローズアップ</li> <li>・「集団学び」を実現する学習指導</li> <li>・安心で安全な集団生活を実現する生徒指導</li> <li>・集団の良さを実感できる行事集会等指導</li> <li>・「共に挑む」経験を実現する部活動指導</li> </ul>
3 地域で示し鍛える「揺るぎ無い存在感」の「核」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりに着目した鳳雛講座の展開(職業観から生き様環へ)</li> <li>・生徒会と地域の「つながり」の継続</li> <li>・生徒会テーマ(百折不撓)輝け個性 歩めNo.1スクールへ</li> <li>・「誰もが認める存在感」の評価・改善の仕組みづくり</li> </ul>

### 令和5年度後期の主な行事・出来事

9月 2日、9日、16日、17日 大北秋季総体 ソフトテニス女子団体優勝、卓球男女団体優勝 水泳・陸上競技男子総合第2位、野球・バスケットボール男女準優勝	11月 7日 新入生体験入学 8日 市教研道徳科部会授業校 10日 生徒総会 11日 ハチ公絆コンサート(吹奏楽部出演) 15日 第2回一斉テスト 24日 部活動休止期間～12/7
17日 全県駅伝大会 男子第11位 20日 第239回鳳雛講座(フリーランサー) 23日 親子窓拭きボランティア 全県秋季陸上～24 29日 合唱祭 30日 一中祭校内発表	12月 6日 第3回指定訪問(理科・英語・特支) 7日 県学習状況調査 13日 第242回鳳雛講座(コンディショニングトレーナー) 15日、19日、20日 各学年球技大会 16日 アンサンブルコンテスト北鹿大会 25日 2学期終業式
10月 1日 一中祭 4日 第240回鳳雛講座(音楽クリエイター) 12日 第2回指定訪問(数学、保体) 14日 全県秋季サッカー、ソフトテニス大会～15 16日 岡山県笠岡市教育委員会視察研修～20 2年ココロの授業(村岡昇氏)～11/20 19日 市教研教科部会② 20日 生徒会役員選挙立会演説会・投票 26日 教員加配校訪問 1、2年轟々講座 3年高校入試説明会 27日 令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰 28日 全県秋季卓球大会～29 29日 全校授業参観 1、2年学年PTA 3年高校入試説明会	1月 13日 アンサンブルコンテスト県大会 15日 3学期始業式 18日 新入生保護者説明会 24日 第243回鳳雛講座(DMAT隊員・臨床工学技士)
31日 第241回鳳雛講座(臨床検査技師)	2月 5日 学校保健委員会 7日 3年第3回一斉テスト 15日 1、2年第3回一斉テスト 19日 第2回IB集会 第3回学校運営協議会
11月 1日 生徒会発会式 3日 全県秋季野球大会～5 優勝 柔道大会～4 6日 学校農園展 優秀賞1席・県教育長賞受賞	3月 5日 一次募集学力検査等実施日 9日 第77回卒業式 13日 一次募集合格者発表 21日 修了式 22日 春季休業～4/3



9月29日(金) 合唱祭 全校合唱「時の旅人」



11月5日(日)  
全県秋季大会優勝の野球部

# 令和5年度 学校評価一覧(年度)

## 【教職員自己評価】

学校名(大館市立第一中学校)

大館市教育の目的	共感的・協働的な学び合い(響学)を通して、一人一人が自らの考えを創造し、学びを深める児童生徒の育成
学校の教育目標	豊かな創造性を磨き 現在及び将来をたくましく生き抜く生徒の育成
学校の重点目標	豊かな創造性を磨き 「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成

評価項目	自己評価 A	委員評価	評価指標	主たる 担当	実践課題		自己 評価 B
					実践課題	主な取組	
I 組織的学 校運営と 展開	良好	良好	1 職員組織の活性化	事務 職員 教頭 連携 担当	(1) 協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け	4
			2 先を見通した危機管理		(2) 危機予測と職員管理・施設管理・会計管理	組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4
			3 開かれた学校づくり		(3) 外部との連携と発信、地域貢献	地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子供ハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	4
II 指導調整 と経営課 題の焦点 化	概ね良好	良好	4 教育課程の編成と管理	教務 部	(4) 日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4
			5 指導調整と諸会議の運営		(5) 指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4
			6 課題の焦点化と研究	研究 部	(6) 共通実践による仮説検証、研究会の活性化	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、授業研究会の活性化	3
			7 諸検査の分析と活用		(7) 検査結果と課題等周知の仕組みづくり	諸検査結果の校内周知と課題の明確化	3
III 健全な 生活習慣	概ね良好	概ね良好	8 校内生活規律の徹底	生徒 指導 部 (部 活担 当)	(8) あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	3
			9 校外生活安全の保守		(9) あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	3
			10 望ましい生活習慣		(10) 保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	3
IV 思いやり の心・たく ましい心	良好	良好	11 学年・学級経営	学年主 任統括	(11) 「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切にし、困難に打ち勝つ空気醸成(学校行事等の活用)	4
			12 適応指導	生徒支 援担当	(12) 教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不適応等諸課題への対応	4
			13 部活動運営	部活 担当	(13) 一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	4
V 基礎学力 と学習習 慣	概ね良好	概ね良好	14 学習規律・習慣の確立	学 習 指 導 部	(14) 主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3
			15 学習環境の整備		(15) 教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	3
VI 自治的 集団活動	概ね良好	良好	16 学校行事等集団活動	特 活 指 導 部	(16) 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取り組みせ方の工夫と振り返りの充実	4
			17 生徒会活動と学校経営		(17) 共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	3
			17 生徒会活動と学校経営		(18) 「一中生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	4

人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成

D 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	極めて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	概ね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 組織的學校運営と展開

学校運営の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント	
教職員が重点目標を意識し、チームとして、主体的・組織的に取り組んでいる。	前期	良好	良好	共通実践による意識統一、職員の危機管理意識の高さ、外部との連携と発信・地域貢献がチームとして、主体的・組織的に取り組んでいて成果を上げている。地域貢献の取組例を、家庭により詳しく伝えてほしい。
	年度	良好	良好	各指導部、学年部で組織的対応ができており、チームの協力体制がよく機能している。鳳雛講座が生徒のためになるよい内容となっている。引き続き地域と連携して取り組んでほしい。
改自己評価の概要と学校の	【前期(→年度)】校長から示された学校経営方針を全職員が理解し、その具現化のために職務を遂行するよう努めている。今後も共通実践が疎かにならないよう、共有を大切にしてい。職員の危機管理意識は高く、学年部を中心に組織的な対応ができています。校舎の不具合等も、毎月の安全点検で報告があった場合には、迅速に対応してきた。鳳雛講座に対する評価は職員、生徒、保護者とも高く、地域コーディネーターの村岡さんと連携し、生徒の地域貢献意識をさらに高めたいと思う。学校報、学年通信、HPやブログの更新は、適宜行っている。子どもハローワークへの参加は、担当の呼びかけや周知が効果的にされており、昨年前期より参加希望が増えた。			
	【年度(→次年度)】前期の取組を元に、各分掌及び学年部で組織的な対応ができています。鳳雛講座や家庭科の実習等を通して、地域との連携の大切さを実感している職員が非常に多いため、生徒の地域貢献意識をさらに高めるために来年度も継続させていく。生徒会主催のボランティア(登校ゴミ拾い、ペットボトルキャップ回収)への参加生徒を増やすために、委員会発行のお便りや学校報でも呼びかけをすることによって家庭を巻き込んでボランティア精神の育成を図っていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 職員組織の活性化	(1)協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け	4	4
2 活力ある集団生活	(2)危機予測と職員管理・施設管理・会計管理	組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4	4
3 開かれた学校づくり	(3)外部との連携と発信、地域貢献	地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子供ハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	4	4

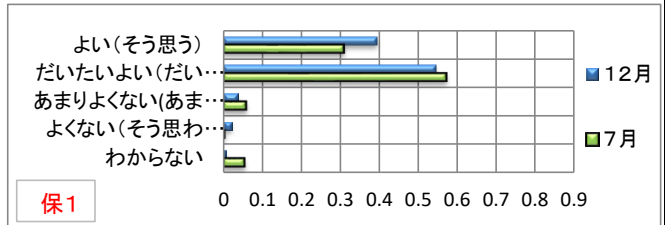
1(1)

職1 職員組織の活性化 平均4.5(令和5年度前期3.9)

1(2)

保1 学校は、生徒の安心・安全の確保について適切に対応していると思いますか。(危険予測能力や危険回避能力の育成、交通事故防止、非行防止、SNS利用マナー指導、不審者対応等)

	12月	7月
よい(そう思う)	39%	31%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	57%
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	6%
よくない(そう思わない)	2%	0%
わからない	1%	5%

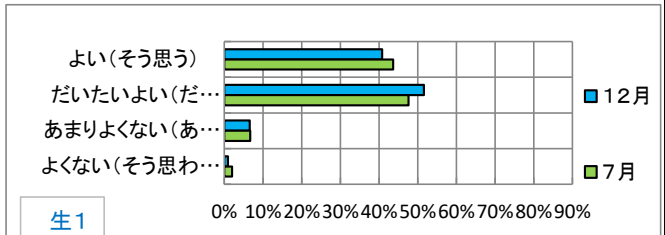


職2 先を見通した危機管理 平均4.5(令和5年度前期4.0)

1(3)

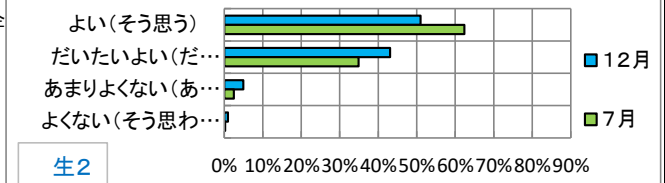
生1 あなたは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献したいと思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	41%	44%
だいたいよい(だいたいそう思う)	52%	48%
あまりよくない(あまりそう思わない)	7%	7%
よくない(そう思わない)	1%	2%



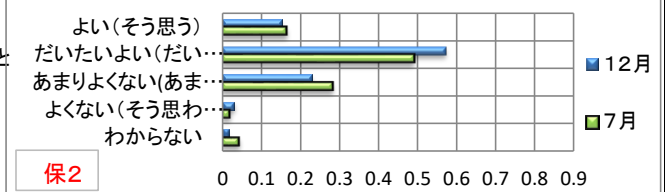
生2 あなたにとって、鳳雛講座や図南タイムの学習(修学旅行、職場体験学習、企業見学等)での学びは、自分の生き方について考えるよい機会となりましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	51%	62%
だいたいよい(だいたいそう思う)	43%	35%
あまりよくない(あまりそう思わない)	5%	2%
よくない(そう思わない)	1%	0%



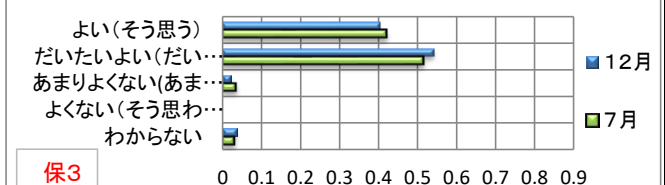
保2 あなたのお子さんは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献しようとする意識が高まっていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	15%	16%
だいたいよい(だいたいそう思う)	57%	49%
あまりよくない(あまりそう思わない)	23%	28%
よくない(そう思わない)	3%	2%
わからない	2%	4%



保3 学校は、郷土愛を醸成し、地域に貢献しようとする生徒の意識を向上させるための取組を工夫していると思いますか。(鳳雛講座、職場体験学習、企業訪問学習、修学旅行等)

	12月	7月
よい(そう思う)	40%	42%
だいたいよい(だいたいそう思う)	54%	51%
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	4%
よくない(そう思わない)	0%	0%
わからない	4%	3%



職3 開かれた学校づくり 平均4.6(令和5年度前期4.3)

## ア 学校運営の状況

### II 指導調整と経営課題の焦点化

学校の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
指導部や学年部等分掌を超えて取組を理解し、課題の解決に向けて共通実践に取り組んでいる。	前期	概ね良好	概ね良好	各主任や指導部長が連携をとり、課題の把握に努めている。また、その課題解決に向けて教員同士の授業参観や、教科の枠を超えた指導案検討会など、具体的な手立てが講じられていて、今後の実践に期待がもてる。 授業づくりについて、前期の課題に焦点を当て、力を入れて取り組んだ成果が見られている。
	年度	概ね良好	良好	
校自己改善施策の概要と学	【前期(→年度)】	昨年度の反省をもとに教育課程を編成し、教務主任と学年主任や指導部長が連携し、計画の改善や実施に努めている。分掌の隙間を埋めるため、広く意見を取り入れ、よりよい取り組みを模索し続けていく。授業開きの前に、全職員で授業のVTRや教育専門監のDVDを見るなどして共通実践項目を確実に実践できるよう促したい。学習状況調査に備えて、県の課題を把握するとともに本校生徒の実態を踏まえて計画的な取組によって定着を図りたい。		
	【年度(→次年度)】	前期に引き続き、教務主任と学年主任・指導部長との連携を密にし、計画の改善・実施に努めた。分掌の隙間は常にできるものであることを念頭に、課題を見つけ、解決への取組を継続していく。後期は全職員で前期の課題を意識して授業づくりや実践に取り組んできた。計画的で組織的な学級や学年経営によって温かい人間関係が作られ生徒同士の関わり合いもよくなったと思われる。3学期は県学習状況調査等から課題を把握し、計画的な取組によって確実な定着を図りたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 教育課程の編成と管理	(4)日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果をも高める教育計画の策定と管理	4	4
5 指導調整と諸会議の運営	(5)指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4	4
6 課題の焦点化と研究	(6)共通実践による仮説検証、研究会の活性化	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、授業研究会の活性化	3	3
7 諸検査の分析と活用	(7)検査結果と課題等周知の仕組みづくり	諸検査結果の校内周知と課題の明確化	3	3

4(4)

職4 教育課程の編成と管理 平均4.6(令和5年度前期4.1)

5(5)

職5 指導調整と諸会議の運営 平均4.5(令和5年度前期3.8)

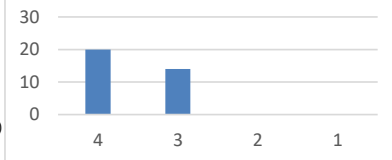
6(6)

職6 課題の焦点化と研究 平均4.3(令和5年度前期3.9)

7(7)

職7 諸検査の分析と課題等の周知 平均4.1(令和5年度前期3.6)

職員アンケート5 度数分布

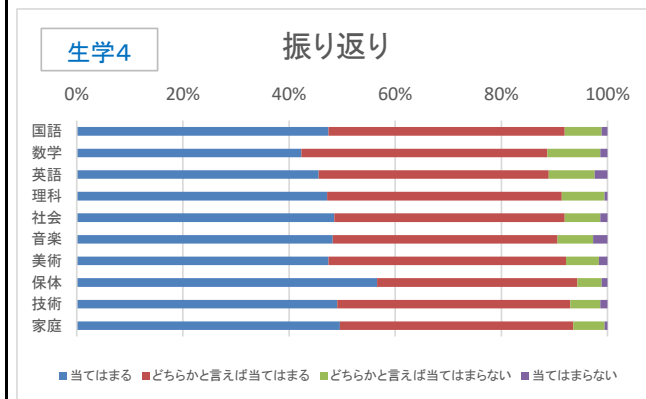
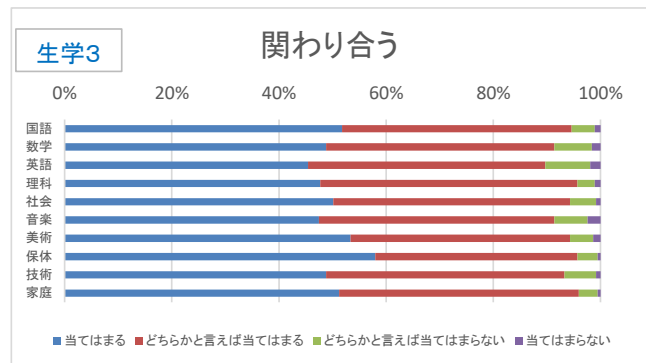
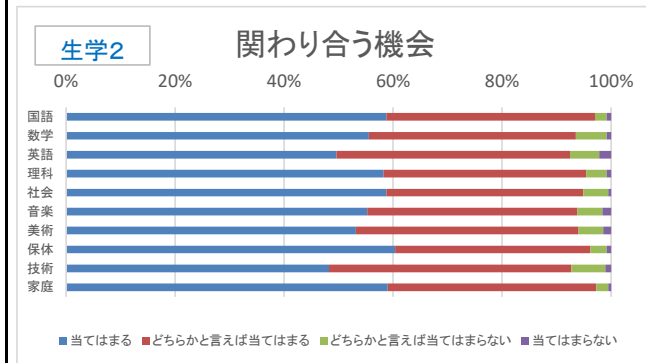


職員アンケート結果平均評価4.2になっている。度数分布を見ると左のように評価4(良い)が多くなった。前期から後期にかけて、計画に関する意見を取り入れながら改善・実施した成果が見られる。

生学2 授業では、学級やグループの中で課題の解決に向けて関わり合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組む機会がありましたか。

生学3 授業で関わり合う活動では、関わり合う活動や話し合う内容などを理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えましたか。

生学4 授業や単元の最後に、学習活動を振り返り、わかったことや考えたことをまとめたり、伝え合ったりしましたか。



生徒学習アンケートでは、前期同様3つの設問について各教科とも肯定的評価が90%を超えていることから、授業の中に他と関わり合って学ぶ機会が保障される中で、互いの考えを伝え合いながら課題解決に取り組んでいることが分かる。また、授業や単元の終わりにリフレクション(振り返り)も継続して行っていると言える。

教師アンケートは前期よりも伸びが見られた。前期の課題を意識して授業に取り組んだことがわかる。ただ、依然として「学びが深まるような発問・指示・支援などを工夫すること」や「教師主導、生徒主体のバランスを考えた生徒主体の授業づくりを工夫すること」に課題が残っている。3学期の授業で意識的に実践し、改善を図る予定である。また、関わり合って学ぶ集団づくりを推進し、各教科の基礎基本の確実な定着を図っていききたい。

## イ 生徒の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

## Ⅲ 健全な生活習慣

生徒の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団の規律の大切さを理解し、よりよい集団生活に寄与しようとする意欲をもって生活している。	前期	概ね良好	生徒のアンケートは、意識した生活を心がけている割合が多いが、保護者、地域の方々に見守られ応援してもらっているというプライドをもち、伝統ある一中の校歌に就った姿勢で学校、保護者、地域の合力で育てていきたい。また、酷暑や災害に対しても臨機応変に、安全な学校生活を送れるよう家庭との連携を密にしてお互い協力していただきたい。 あいさつを含め、家庭や地域の方に情報提供を行い、好ましい生活習慣を身に付けていけるよう、継続した指導をお願いしたい。
	年度	概ね良好	
学自己評価の概要と改善策	<p>【前期(→年度)】「校内生活規律、校外生活安全」は、小さな努力の積み重ねが人間性を高められるということ、「社会人になったら」という視点で自覚できるよう、共通実践していく。また、生徒会や各委員会と連携をとりながら健全な生活習慣を実践する意欲を高めた。保護者や地域の声は機会を設けて全校生徒に伝え、指導に生かしていく。「望ましい生活習慣」については、保護者の76%、生徒の82%が肯定的回答をしている。今後も情報提供を行い、生活習慣の確立と継続への自己決定を促したい。</p> <p>【年度(→次年度)】校外における挨拶の肯定的回答が低下している点が目立つ。不審者対応も大切だが、地域のコミュニティーづくりへの参画も大事であることを配付物や集会などで指導していきたい。「望ましい生活習慣」については、保護者の7割以上、生徒の8割以上が肯定的な回答をしている。7月と比較し12月の保護者の肯定的な回答が低下している。今後も情報提供を継続して行い、長期休み中も含め生活習慣を乱さないようにさせたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 校内生活規律の徹底	(8)あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	3	3
9 校外生活安全の保守	(9)あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安心・安心実現のための取組	3	3
10 望ましい生活習慣	(10)保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	3	3

8(8) 生3 あなたは、学校生活において、ルールやマナーを守って生活していますか。 生4 あなたは、学校生活において、自分から進んで挨拶をしていますか。

生3		12月	7月
よい(そう思う)	43%	41%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	52%	54%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	4%	
よくない(そう思わない)	1%	0%	

生4		12月	7月
よい(そう思う)	43%	47%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	47%	46%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	9%	6%	
よくない(そう思わない)	1%	1%	

保4 学校は、集団生活におけるルールやマナーを守ることができる生徒を育てるために、十分な指導を行っていると思いますか。

保5 一中生のあいさつについて、どう感じていますか。

保4		12月	7月
よい(そう思う)	23%	25%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	61%	58%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	11%	11%	
よくない(そう思わない)	2%	1%	
わからない	3%	4%	

保5		12月	7月
よい(そう思う)	17%	15%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	60%	59%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	18%	18%	
よくない(そう思わない)	1%	1%	
わからない	5%	7%	

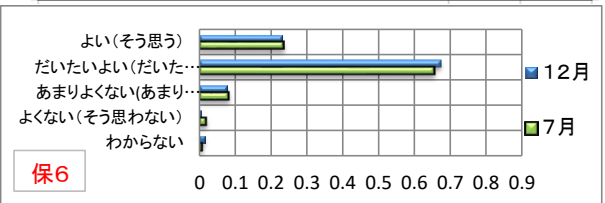
生5 あなたは、校外において、地域の人などに進んであいさつをしていますか。 職8 校内生活規律の徹底 平均3.8(令和5年度前期3.3)

生5		12月	7月
よい(そう思う)	34%	39%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	40%	43%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	23%	17%	
よくない(そう思わない)	2%	1%	

9(9) 生6 あなたは、校外において、安心・安全な生活を心がけることができますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

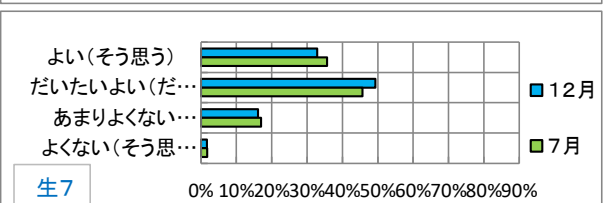
生6		12月	7月
よい(そう思う)	64%	69%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	34%	29%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	1%	2%	
よくない(そう思わない)	1%	0%	

保6 あなたのお父さんは、校外において、安心・安全な生活を送ることができていますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)



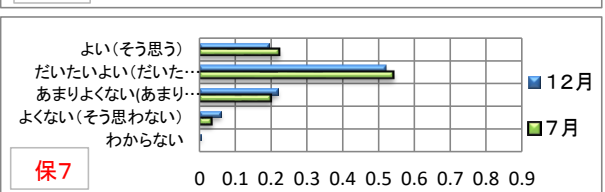
職9 校外生活安全の保守 平均4.0(令和5年度前期3.6)

生7		12月	7月
よい(そう思う)	33%	36%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	49%	46%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	16%	17%	
よくない(そう思わない)	2%	2%	



保7 あなたのお父さんは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を送ることができていますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

職10		12月	7月
よい(そう思う)	19%	22%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	52%	54%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	22%	20%	
よくない(そう思わない)	6%	4%	
わからない	1%	0%	



イ 生徒の状況

IV 思いやりの心・たくましい心

生徒の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で一つの目標に向かって切磋琢磨する体験を通して、自己と他者を大切にしたいという思いをもって生活している。	前期	良好	良好	学年全体での集会等を通じて目標を共有し、実践しようとする工夫が見られる。生徒の状況を把握し、個人に向き合っている様子は評価できるが、30名を超える不登校は多い。保護者の共感を得られない場合もあるが、それぞれの部活動において生徒が満足感を得られるよう、今後も育成について指導を徹底していただきたい。 校内適応指導教室を始め、一人一人の課題に対し関係諸機関とも連携がよくとられている。合唱祭、一中祭など、みんなで創りあげる行事により、自己有用感の高まりにつながっている。
	年度	良好	良好	
改善自己評価の概要と学校の	【前期(一年度)】 学年で足並みを揃えながら係や当番活動に取り組ませることで、友達を認めたり、自己有用感が高まったりしていると思われる。また、学校行事に向けては、学年全体で目標や概要を示し、学級ごとの目標を決めて競争したり、切磋琢磨して集団で成長していることが感じられる。教育相談や面談に限らず、日常的なコミュニケーションにより生徒の状況を把握し、必要な対応をすることが概ねできている。一方で、不登校や不登校傾向が続いている生徒や保護者に対しては、関連機関と情報を共有しながら適切に対応していきたい。年度初めに部活動総会やキャプテンミーティングを開催し、本校が目指す部活動のあり方を目的やねらいなどの視点で、全職員と全校生徒で共通理解している。また部活動指導も生徒指導の延長としてとらえ、経験の有無に限らず、積極的な生徒との関わりを大事にしている。ますます部活動の位置付けや意味が変化してきているため、生徒にとって自主的・自発的な活動ができるよう生徒、顧問間の連携を図ってきたい。			
	【年度(一次年度)】 合唱祭や一中祭、球技大会など大きな行事に向けて、学級や学年でよりよいものを創り上げようと生徒と教師集団が全力で取り組むことができた。その充実感が前期よりも生徒・保護者とも数値が向上していると思われる。行事終了後には、その力を授業や普段の生活と往還していくように励ましてきた。生徒の現状や悩みを知る機会の一つとして、教育相談が有効に活用されている。必要に応じてSCにつなげたり、関係機関と連携を図ったりして、生徒に寄り添った対応をすることが概ねできている。後期も節目ごとにキャプテンミーティングを実施し、3年生から2年生への引き継ぎを円滑なものにできるような心がかけている。また全職員で部活動指導にも組織的に対応し、安全で安心してできる環境の構築に努めている。部活動は生徒の競技力向上だけではなく、人間関係形成能力の育成の場としての意味も共通理解指導していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 学年・学級経営	(11)「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切に、困難に打ち勝つ空気感醸成(学校行事等の活用)	4	4
12 適応指導	(12)教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不適応等諸課題への対応	3	4
13 部活動運営	(13)一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	4	4

11(11)

生8 あなたは、学年や学級の目標の実現に向けて、仲間とともに高め合いながら毎日の学校生活を送ることができていますか。

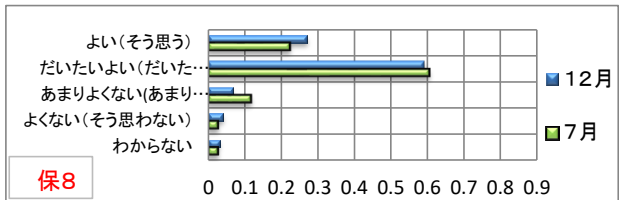
生8		12月	7月
よい(そう思う)	61%	46%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	35%	49%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	4%	
よくない(そう思わない)	0%	0%	

生9 あなたは、学校生活において、友達を大切に、共に高め合いながらいろいろな学習や学校行事等に前向きに取り組んでいますか。

生9		12月	7月
よい(そう思う)	59%	60%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	38%	38%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	2%	
よくない(そう思わない)	0%	0%	

保8 あなたのお子さんは、学年や学級の目標の実現のために、仲間と共に高め合いながら、毎日の学校生活を前向きに送っていると思いますか。

保8		12月	7月
よい(そう思う)	27%	22%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	59%	60%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	7%	12%	
よくない(そう思わない)	4%	3%	
わからない	3%	3%	

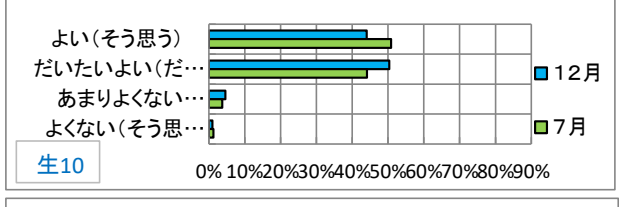


職11 学年・学級経営 平均4.2(令和5年度前期3.8)

12(12)

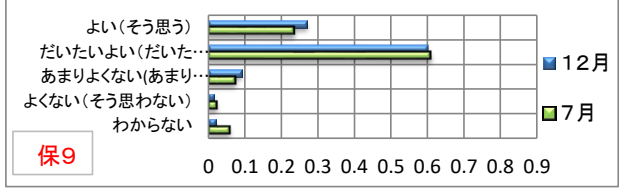
生10 先生方は、あなたの気持ちを理解し、誠実に対応していると思いますか。

生10		12月	7月
よい(そう思う)	44%	51%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	50%	44%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	5%	4%	
よくない(そう思わない)	1%	1%	



保9 学校は、生徒や保護者の思いや願いに寄り添った対応をしていると思いますか。(教育相談の実施、SCとの連携、関係機関との連絡・調整、生徒・保護者への対応等)

保9		12月	7月
よい(そう思う)	27%	24%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	60%	61%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	9%	7%	
よくない(そう思わない)	2%	2%	
わからない	2%	6%	

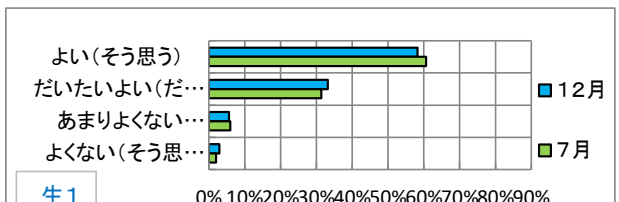


13(13)

職12 適応指導 平均4.2(令和5年度前期3.8)

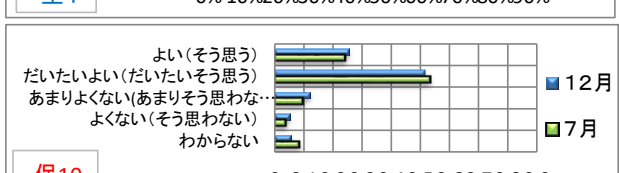
生11 先生方は、部活動において熱心に指導していると思いますか。

生11		12月	7月
よい(そう思う)	58%	61%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	33%	31%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	6%	6%	
よくない(そう思わない)	3%	2%	



保10 学校は、保護者に対して部活動運営方針を提示するとともに、部活動を通して技術・技能、心の育成に努めていると思いますか。

保10		12月	7月
よい(そう思う)	26%	24%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	52%	53%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	12%	10%	
よくない(そう思わない)	5%	4%	
わからない	6%	9%	



職13 部活動運営 平均4.2(令和5年度前期3.8)

イ 生徒の状況

V 基礎学力と学習習慣

学校運営の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で学ぶ力を高めることで、主体的、対話的で深い学びを実現しようとしている。	前期	概ね良好	共感的、協働的な学びを軸とした授業を構築しようとする教師の意識が感じられた。学習規律の確立に向けた継続的な指導を含め、ファシリテーターとしての教師の役割を機能させ、生徒主体の学びがさらに充実することに期待したい。
	年度	概ね良好	ICT活用について、指導する側のハード面での課題があると思うが、改善できることから進めて成果につなげてほしい。
の自己改善評価の概要と学校	【前期(→年度)】 集団での学び方を工夫することによって、主体的に学びに向かう姿勢が身に付いてきている。今後は学習規律をさらに意識させ、学びを深めるための教師のプロデュースによって生徒主体の授業づくりを実践していきたい。また、教具やシート等を工夫して授業を行っていることについては肯定的であるが、タブレットを活用した授業を増やしてほしいという声もあるので、効果的な活用を図っていきたい。		
	【年度(→次年度)】 共通実践事項の積み重ねや、学習規律を意識して授業に取り組んだことによって主体的に学ぶ姿勢はほぼ身に付いていると考えている。更に主体的に取り組めるよう、分からない、できないと感じている生徒を大切にしながら、学習課題の設定や関わり合って学ぶ場の設定、リフレクションを大切にしていきたい。学習環境においてはほぼ前期と変わらないが、学習内容の理解において満足できていない生徒がいるのではないかとと思われる。効果的にICTを活用しながら学ぶための学習規律、関わり合って学ぶための学習規律を全教科で実践できるようにしていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
14 学習規律・習慣の確立	(14)主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3	3
15 学習環境の整備	(15)教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	3	3

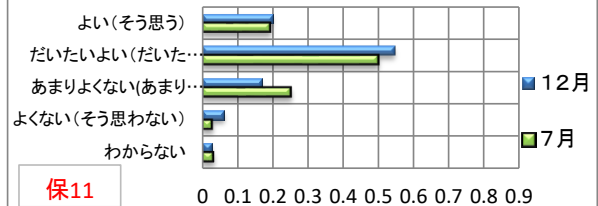
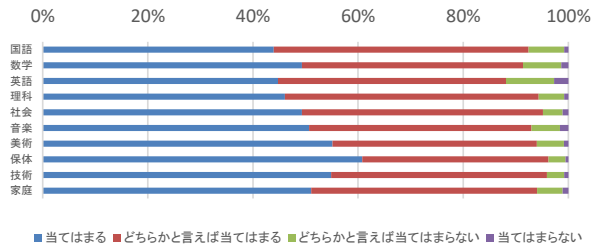
14(14)  
**生物学1** 授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましたか。

生徒学習アンケートの結果から、各教科とも「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」という肯定的な回答がほぼ90%を超えている。主体的に学習に向かっているといえる。生徒とともに創りあげる課題設定や関わり合って学ぶ場の設定、リフレクションの充実など、日々の取組の成果であると捉えている。さらに主体的に取り組んでいけるよう、関わり合って学ぶ場面での学習規律をさらに意識させ、全員が参加して課題を解決する達成感を味わわせられるように実践を重ねていきたい。

**保11** あなたのお子さんは、学校での授業に目標をもって前向きに取り組んでいると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	20%	19%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	17%	25%
よくない(そう思わない)	6%	3%
わからない	3%	3%

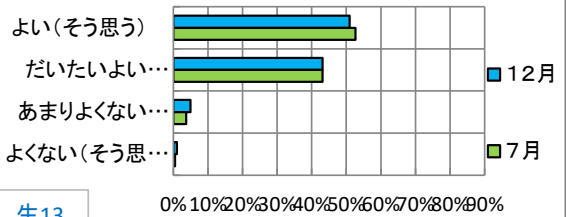
自分で考え、自分から学習する



**職14** 学習規律・習慣の確立 平均4.0(令和5年度前期3.7)  
**15(15)**

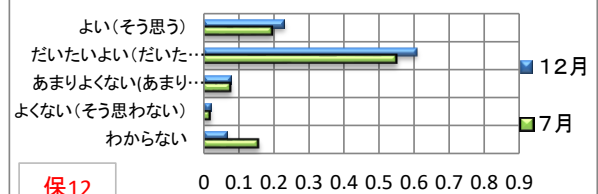
**生13** 先生方は、授業においてICTを活用したり、教具やシート等を工夫したりして、生徒が理解しやすいように心がけていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	51%	53%
だいたいよい(だいたいそう思う)	43%	43%
あまりよくない(あまりそう思わない)	5%	4%
よくない(そう思わない)	1%	0%



**保12** 学校は、生徒の学力向上のために、日々の授業において指導方法や内容を工夫していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	23%	20%
だいたいよい(だいたいそう思う)	61%	55%
あまりよくない(あまりそう思わない)	8%	8%
よくない(そう思わない)	2%	2%
わからない	7%	16%



**職15** 学習環境の整備 平均3.8(令和5年度前期3.6)

## イ 生徒の状況

### VI 自治的集団活動

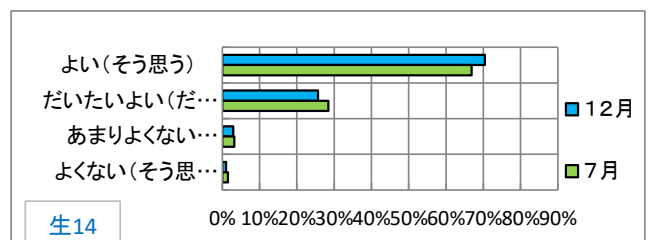
学校運営の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で生活する喜びを実感し、皆とともによりよい生活を実現しようとする主体性を育てている。	前期	概ね良好	概ね良好	学校行事等においては、自己評価の視点からも生徒自身が積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。後期においても、家庭や地域との連携を強化し、引き続き一中の強みを発揮してもらいたい。
	年度	概ね良好	良好	学校行事、集団での活動が活発に行われており、その成果が確かなものになってきている。
校自己改善策の概要と学	【前期(→年度)】生徒の自己評価と保護者の評価の間でやや差が見られる。生徒に関しては取組だけでなく、その事前指導や事後指導をこれまで以上に大事にしていきたい。保護者に関しては、事前や事後の取組の紹介をしていくことを大事にしていくとともに、活動したことが学校生活だけでなく、家庭生活や地域での生活につながるような取組を進めていきたい。			
	【年度(→次年度)】生徒及び保護者の評価は概ね良好であるが、話し方聞き方と主体的活動の部分の評価が少し落ちている。職員からは日常生活を含めての事前指導の大切さを指摘されている。今後も粘り強い指導をしてきたい。そのための共通理解と継続的な声かけが大事である。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
16 学校行事等 集団活動	(16)皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取組ませ方の工夫と振り返りの充実	4	4
	(17)共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	3	3
17 生徒会活動 と学校経営	(18)「一中生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	4	4

#### 16(16)

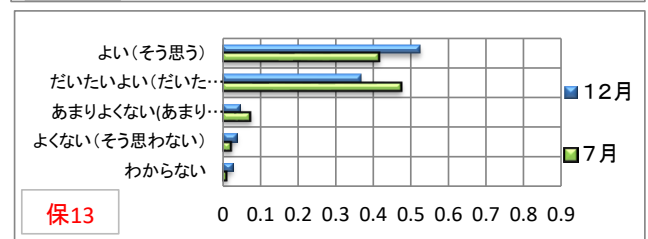
**生14** あなたは、合唱祭や一中祭などの学校行事の意義や自分の役割を理解し、楽しく参加することができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	70%	67%
だいたいよい(だいたいそう思う)	26%	28%
あまりよくない(あまりそう思わない)	3%	3%
よくない(そう思わない)	1%	1%



**保13** あなたのお子さんは、合唱祭や一中祭などの学校行事に目標をもって前向きに取り組んでいたと思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	53%	42%
だいたいよい(だいたいそう思う)	37%	47%
あまりよくない(あまりそう思わない)	5%	7%
よくない(そう思わない)	4%	2%
わからない	3%	1%

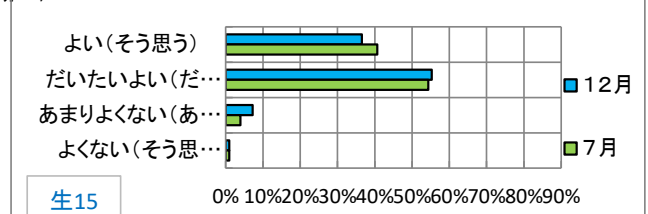


**職16** 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事 平均4.4(令和5年度前期4.0)

#### 16(17)

**生15** あなたは、全校集会や生徒総会において、相手を意識した話し方や聴き方を意識し、自分の考えを深めることができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	37%	41%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	54%
あまりよくない(あまりそう思わない)	7%	4%
よくない(そう思わない)	1%	1%

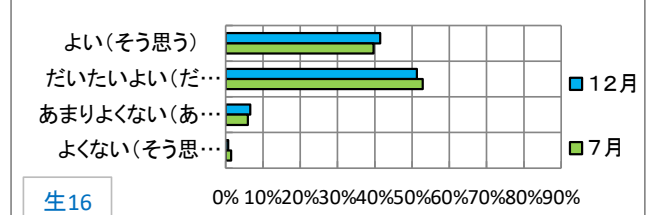


**職17** 共感と規律を意識させる全校集会 平均4.1(令和5年度前期3.6)

#### 17(18)

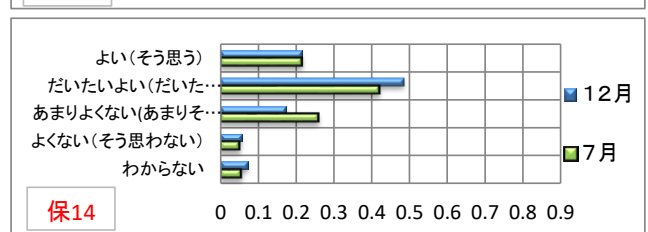
**生16** あなたは、生徒会活動やボランティア、係や当番活動において、学級や学年、学校が少しでもよくなるように、自分から考えて活動することができますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	41%	40%
だいたいよい(だいたいそう思う)	51%	53%
あまりよくない(あまりそう思わない)	7%	6%
よくない(そう思わない)	1%	1%



**保14** あなたのお子さんは、生徒会活動やボランティアなどで、学校や学級がよくなるように自分から考えて活動していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	21%	22%
だいたいよい(だいたいそう思う)	48%	42%
あまりよくない(あまりそう思わない)	17%	26%
よくない(そう思わない)	6%	5%
わからない	7%	5%



**職18** 生徒会活動と学校経営 平均4.2(令和5年度前期3.9)